

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	キャリアデザイン			科目No	MUA01
授業形態	講義	授業コマ数	60	単位数	4
担当教員	古賀彩・野中夕香子・藤井優衣				
実務経験教員	古賀彩・野中夕香子・藤井優衣				
実務内容	美容部員・ヘアメイク				
授業の概要	学生と社会人の違いを理解して、業界全体を学習します。 社会人マナーや基本的ルールを学習し行動目標をたてます。				
到達目標	社会のルールやマナーをベースに行動できるようになります。 就職後の即戦力になる人材に成長することを目標とします。				
テーマ	内 容				
理念、基本動作、5S	教育理念を理解し、実行できるよう基本動作をトレーニングする				
チームワーク	チームで協力する大切さを学び、実践することで尊重と感謝の気持ちを持つ				
働くことと学ぶこと	学生と社会人の違いを考え、社会人としての意識を持つ準備をする				
社会人常識マナー	社会人基礎力として大切な常識を学び、常識範囲内での判断力を身につける				
業界研究	メイク業界の職種や現状を自ら研究することで就職後のキャリアを考える				
グループワーク	与えられたテーマのワークを通して、気付きを発表する				
教 材	評価基準		評価率		
配布資料	出席率		40%		
	取組姿勢		30%		
	課題・試験 成果物評価等		30%		
関連資格・検定 コンテスト等					

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	メイク実習			科目No	MUA02
授業形態	実習	授業コマ数	160	単位数	5
担当教員	古賀彩・野中夕香子・藤井優衣				
実務経験教員	古賀彩・野中夕香子・藤井優衣				
実務内容	美容部員・ヘアメイク				
授業の概要	スキンケア、メイクアップの基礎知識から道具の使用方法、手順など メイクアップを美しく仕上げる為のケア方法と様々なメイクテクニックを学びます。 骨格の理解、立体を表現する技術や様々なシーンにあったテクニックを学習します。				
到達目標	技術の基本となる、「形」「色」「質感」を理解し、設定された時間内でメイクアップ技術ができるようになります。モデルの顔型に合わせたパーツメイクの修正やシーン、幅広いテクニックの表現を学びメイクアップの提案が出来ることを目標とします。				
テーマ	内 容				
ナチュラルメイク	基本的な化粧品で素早く自然なメイクアップができる				
ゴールデンプロポーション	顔のパーツ位置により印象の違いを学ぶ ゴールデンプロポーションに近づけるテクニックを学ぶ				
グラデーション	アイメイク中心にグラデーションテクニックを習得する				
立体	骨格を活かし、立体感をつくるテクニックを習得する				
カラーバランス	パーソナルカラーを活かし、カラーバランステクニックを習得する				
トレンドメイク	様々なトレンドメイクアップテクニックを習得する				
曲線フォルムメイク①	キュートな印象のメイクアップテクニックを習得する 形、カラー、質感でイメージ表現を考える				
曲線フォルムメイク②	ソフトな印象のメイクアップテクニックを習得する 形、カラー、質感でイメージ表現を考える				
直線フォルムメイク③	クールな印象のメイクアップテクニックを習得する 形、カラー、質感でイメージ表現を考える				
直線フォルムメイク④	フレッシュな印象のメイクアップテクニックを習得する 形、カラー、質感でイメージ表現を考える				
教 材	評価基準		評価率		
日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト 配布資料 化粧品教材	出席率		30%		
	取組姿勢		20%		
	課題・試験 成果物評価等		50%		
関連資格・検定 コンテスト等	日本メイクアップ技術検定				

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	メイク理論			科目No	MUA03
授業形態	講義	授業コマ数	50	単位数	3
担当教員	橋本かすみ				
実務経験教員	橋本かすみ				
実務内容	美容部員				
授業の概要	化粧の始まりから化粧品の取り扱いまで、メイクアップ知識全域を学習します。骨格や顔の部位の名称、皮膚の3層の構造を理解し、悩みの原因や対処方法を含む美しい肌づくりの基礎をベースに学びます。				
到達目標	皮膚構造により、悩みに対応したカウンセリング、化粧品の成分や働きを踏まえメイクだけではなくベースとなる肌状態を説明できるようになります。また、ゴールデンプロポーションや修整理論を通し、TPOに合わせた対応を習得します。				
テーマ	内 容				
メイクアップツール	メイクアップに欠かせないツールやその手入れについて学ぶ				
顔の成り立ち	骨格、筋肉、パーツの名称や役割について学ぶ				
皮膚知識	皮膚はどのような構造をしているのかを知り複雑なしくみを学ぶ				
肌タイプ	4つの肌タイプの特徴を学ぶ				
季節と肌	季節による肌変化と対策を学ぶ				
肌トラブル	様々な肌トラブルとメイクアップ方法を学ぶ				
顔のプロポーション	顔バランスや基本のプロポーションを学ぶ				
色彩とメイクアップ	色が及ぼすメイクアップへの効果を学ぶ				
メイクアップテクニック	使用アイテムと効果、立体感について学ぶ				
修整メイク	顔バランスによる修整の方法を学ぶ				
教 材	評価基準		評価率		
日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト 配布資料	出席率		30%		
	取組姿勢		20%		
	課題・試験 成果物評価等		50%		
関連資格・検定 コンテスト等	日本メイクアップ知識検定				

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	RMKメイクアップ検定			科目No	MUA04
授業形態	実習	授業コマ数	120	単位数	4
担当教員	古賀彩				
実務経験教員	古賀彩				
実務内容	美容部員				
授業の概要	株式会社エキップブランドRMKのメイクテクニックを習得できる検定です。メイクアップアーティストよりナチュラルメイクアップに必要な知識・技術を学びます。顔型やパーツのイメージ分析し、立体感と素肌美を生かすテクニックを身につけます。				
到達目標	メイクアップアーティストより直接指導を受け、ナチュラルメイクアップに必要な知識と技術を身につけます。立体感と素肌美を生かしたメイクが短時間で出来るようになり1年目の美容部員同等の検定合格を目指します。				
テーマ	内 容				
肌分析とスキンケア法	肌質に合わせたスキンケア法とその効果を学ぶ				
ベースメイク実習	時間内に肌を美しくみせるポイントを学びトレーニングする				
アイメイク	モデルの骨格・アイブロウの形を理解し モデルに合わせたテクニックを学ぶ				
リップメイク	モデルを生かしたリップラインを描くトレーニング				
パーソナルメイクテクニック	モデルに合わせたバランスの工夫を繰り返し トレーニングする				
トレンドテクニック	ブランドマーケティングによるトレンドテクニックを学ぶ				
検定対策	検定同様の時間と環境で、合格を目指すトレーニング				
模擬試験	時間内にメイクを仕上げ、合格レベルを確認する				
教 材	評価基準			評価率	
RMKマニュアル 配布資料 化粧品教材	出席率			30%	
	取組姿勢			20%	
	課題・試験 成果物評価等			50%	
関連資格・検定 コンテスト等	RMKメイクアップ検定 ディプロマ発行				

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	ネイル			科目No	MUA05
授業形態	実習	授業コマ数	60	単位数	2
担当教員	末岡真衣子				
実務経験教員	末岡真衣子				
実務内容	ネイリスト				
授業の概要	ネイルケアの歴史、爪の構造や働き、病気について学びます。 相モデルでマニキュアの練習を繰り返し、 JNECネイリスト技能検定3級の基本的な技術を学び、検定受験対策授業を行います。				
到達目標	JNECネイリスト技能検定3級程度のベーシックなネイルのテクニックが身につきます。 爪の構造や役割などの理論と共に、様々な道具の使い方などを理解し、基礎となる技術を習得し、検定合格を目指します。				
テーマ	内 容				
セッティング	ネイル器具の名称を覚え、正確なセッティングを行う				
デモンストレーション	デモンストレーションを通じ、3級検定の流れと ポイントを理解する				
爪の構造と病気	爪の各部名称を覚え、構造と病名・症状や原因を学ぶ				
衛生と消毒	安心安全な環境のための手指と器具の消毒方法を学ぶ				
ネイルケア	爪の健康を保つためのネイルケアの基本を習得する クリーンナップの手順を学ぶ				
ネイルケア	ルースキューティクルの除去をする キューティクルニッパーの使い方を習得する				
ファイルング	基本的なファイルのかけ方を学ぶ ラウンドカットスタイルに整える方法を習得する				
カラーリング	カラーリングの手順を学び、ムラのない カラーリングができる				
フラットアート	テーマにあわせたアートの図案を考え、方法を学ぶ				
模擬試験	指定された時間内で施術し、合格レベルを目指す				
教 材			評価基準	評価率	
JNAテクニカルベーシックテキスト ネイル教材			出席率	30%	
			取組姿勢	20%	
			課題・試験 成果物評価等	50%	
関連資格・検定 コンテスト等	JNEC3級ネイリスト技能検定				

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	接客カウンセリング			科目No	MUA06
授業形態	講義	授業コマ数	60	単位数	4
担当教員	古賀彩・橋本かすみ・藤井優衣				
実務経験教員	古賀彩・橋本かすみ・藤井優衣				
実務内容	美容部員				
授業の概要	接客業として、お客様に対応するビジネスマナーや基礎的知識を学びます。特に表情と動作、身だしなみや言葉遣いなど、社会人の基礎を中心に学習します。				
到達目標	即戦力となるための知識とコミュニケーション力を身につけます。 肌悩みのヒアリングや、パーソナルなアドバイス、購買に至る実践力を身につけます。				
テーマ	内 容				
第一印象	第一印象とは何かを理解し、印象をアップする方法を学び実践する				
固定客をつかむ表情、しぐさ	表情筋のトレーニングで、笑顔美人を目指す 立ち方、歩き方など、他者目線で美しいしぐさを習得する				
一般常識、ビジネスマナー	ピューティーアドバイザーに必要な常識やマナーを テスト形式で学ぶ				
心をつかむ声掛け法	観察・分析・表現を学び、パーソナル対応を習得する				
接客の流れ	お迎えからお見送りまで、基本的な接客用語を使った ロールプレイング				
ビジネスマナー	報告連絡相談のタイミングを学ぶ 電話の受け答えを実践でトレーニングする				
傾聴のポイント	繰り返しや共感を行いながら、傾聴するトレーニング				
悩み別の原因と対策	肌状態を見極め、基本的な説明ができる				
聞きだしと提案	相手にあわせた聞きだしの仕方と提案方法を学ぶ				
教 材					
配布資料 配布化粧品一式					
評価基準					
出席率	30%				
取組姿勢	40%				
課題・試験 成果物評価等	30%				
関連資格・検定 コンテスト等	接客コンテスト				

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	パーソナルカラー			科目No	MUA07
授業形態	講義	授業コマ数	30	単位数	2
担当教員	中村裕美				
実務経験教員	中村裕美				
実務内容	パーソナルカラー講師				
授業の概要	色彩学を基に色の成り立ちを学習します。各人の持つ肌・髪の毛・虹彩からブルーベースやイエローベースの基本を学習し、似合う色を4つの分類で見分けます。パーソナルカラー検定モジュール1の合格を目指します。				
到達目標	メイクアップに欠かせない色の基本を理解し、イメージを説明できるようになります。また、カラーの分類と色の見分け方を習得する事で、検定合格を目指します。				
テーマ	内 容				
パーソナルカラー概論	パーソナルカラーの役割とベースの特徴を理解する				
4シーズンの特徴	4シーズンの特徴を理解する 4シーズンを仕分けし、カラージュを作成する				
光と色	色を見るための3つの条件を覚える				
色の三属性	色の要素を理解し、覚える				
トーン	トーンのイメージと清色・濁色の見分けを学ぶ				
色の感情効果	色の心理的影響を理解する				
配色	配色調和論を学び、基本的な配色を理解する				
3属性と肌色の見え方	3つの属性が肌色の見え方に与える影響を理解する				
検定対策	模擬テスト形式で繰り返し、ポイントを覚える				
教 材	評価基準		評価率		
日本パーソナルカラー協会テキスト 配布資料 カラー配色カード	出席率		30%		
	取組姿勢		20%		
	課題・試験 成果物評価等		50%		
関連資格・検定 コンテスト等	日本パーソナルカラー協会 パーソナルカラー検定 モジュール1				

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	デッサン			科目No	MUA08
授業形態	実習	授業コマ数	30	単位数	1
担当教員	ナカシンイチ				
実務経験教員	ナカシンイチ				
実務内容	画家				
授業の概要	メイクアップに欠かせない立体を正確に表現するために、光と影を中心に鉛筆デッサンを用いて理解を深めます。静物画、人物画などを通じ、陰影法、遠近法、人体構造といったデッサンの基本的技術を学びます。				
到達目標	鉛筆で、光と影を細かく理解しデッサンできる技術を身につけます。「物を見る目」「空間を把握する感覚」「表現する力」特に人物の立体について深く理解しメイクアップの表現に役立つ技術を身につける事を目標とします。				
テーマ	内 容				
線と量感	線の描き方、丸い形のデッサン				
光源と陰影	光源によるエッジの変化				
円と球体、橢円形	円の描き方、球体モデルのデッサン				
エッジの構造	ネリゴムによる不定形六面体のデッサン				
人体頭部の構造	基本構造と比率、イラストレーションを描く				
省略と抽出	短時間で描ける工夫を探るイラストレーション				
面分解と立体把握	マネキンの正面、横顔、斜めのデッサン 左右対称、正中線の理解				
ネガティブスペースと人物模写	画面の量感把握方法 ケイト=モスの模写				
トーンと調整	色彩の基礎、色の作り方の基本				
混色技法	目的の色を得るための数学的思考を学ぶ				
教 材	評価基準			評価率	
配布資料 鉛筆、絵の具など配布教材	出席率			30%	
	取組姿勢			10%	
	課題・試験 成果物評価等			60%	
関連資格・検定 コンテスト等					

## ■ メイクアップ科1年次 必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	コンテスト			科目No	MUA09
授業形態	実習	授業コマ数	90	単位数	3
担当教員	古賀彩・野中夕香子・藤井優衣				
実務経験教員	古賀彩・野中夕香子・藤井優衣				
実務内容	美容部員・ヘアメイク				
授業の概要	今期のトレンド検証を行い、モデルに似合わせたテーマを設定します。 作品のイメージボードを作ることで、作りたいイメージを表現し、メイク・ヘアスタイル・ファッショングのバランスを考え作成します。				
到達目標	テーマに沿ったコンセプトを考え、作成し、モデルの表現まで提案します。 現場でも必要なチームワークやコミュニケーションを身につけます。				
テーマ	内 容				
トレンド分析	情報を収集し、今期のトレンドを分析する				
イメージボード作成	作りたいイメージの画像を集め、整理する				
企画書作成	イメージボードから具体的なメイクデッサンをする				
作品制作①	イメージを前提にメイクを練習する				
作品制作②	イメージに合わせたヘアスタイルを練習する				
作品制作③	イメージに合わせたファッショングを作成する				
作品制作④	モデルに合わせて全体のバランスを調整する				
リハーサル	指定された時間内で作品を仕上げるトレーニングを行う				
ショー構成	ステージでの見せ方を、照明・音楽と共に考える				
教 材	評価基準		評価率		
配布資料 化粧品教材一式	出席率		30%		
	取組姿勢		20%		
	課題・試験 成果物評価等		50%		
関連資格・検定 コンテスト等	ファイナルコンテスト				

■ メイクアップ科1年次 ピューティーアドバイザー コース必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	エステ実習			科目No	BAC01
授業形態	実習	授業コマ数	30	単位数	1
担当教員	吉開実咲				
実務経験教員	吉開実咲				
実務内容	エステティシャン				
授業の概要	フェイシャルエステティックの目的、効果、筋肉や骨格の名称などの理論を学び スタンスや腕全体の動かし方を習得します。				
到達目標	スキンケアの手順や目的を理解し、マッサージ技術を通じて、骨格や脂肪・ 皮膚の構造などの知識を深め、心地よく丁寧な技術を身につけます。 日本エステティック協会の技術に準じて、フェイシャルエステティックの基礎を学びます。				
テーマ	内 容				
フェイシャルエステティックの目的	教室や備品の使用方法や清掃の仕方を確認する フェイシャルトリートメントの目的、流れ、禁忌を学ぶ				
クレンジングの目的	クレンジングの必要性を理解し、施術を行う 圧、手順、ふき取りまでの一連のクレンジングができる				
ディープクレンジング	ディープクレンジングの種類や肌質との関係を学ぶ クレンジングを行い、酵素で角質ケアを行う				
6法の目的と効果と実践①	6法の特徴、スキンタイプの特徴、見分け方を学ぶ クレンジング・マッサージの手法を習得する				
6法の目的と効果と実践②	筋肉・骨格を学ぶ クレンジング・マッサージの手法を習得する				
6法の目的と効果と実践③	カウンセリングの目的、すすめ方、書き方を学ぶ セルフクレンジング後、マッサージの手法を習得する				
6法の目的と効果と実践④	皮膚に大切な栄養を学ぶ クレンジング・マッサージの手法を習得する				
フェイシャルトリートメントの流れ	モデルの肌質を理解し、衛生面、モデルへのマナーを 重点的に学び習得する				
教 材	評価基準			評価率	
配布資料 化粧品教材	出席率			50%	
	取組姿勢			20%	
	課題・試験 成果物評価等			30%	
関連資格・検定 コンテスト等					

■ メイクアップ科1年次 ピューティーアドバイザー コース必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	アロマテラピー			科目No	BAC02
授業形態	講義	授業コマ数	30	単位数	2
担当教員	日高由美				
実務経験教員	日高由美				
実務内容	エステティシャン				
授業の概要	精油の種類を学び、特徴や心身に働きかける芳香療法を学びます。 香りの使用方法に対する知識が深まり、アロマ検定に向けて対策授業も行います。				
到達目標	アロマテラピーの正しい知識を持ち、伝えることができるようになります。 美と健康の増進に役立て、香りに囲まれた健やかなライフスタイルを送る知識習得と検定合格を目指します。				
テーマ	内 容				
アロマテラピーの歴史	植物と、その香りの利用されていた歴史を知る				
アロマテラピーについて	アロマテラピーと精油の定義について学ぶ				
アロマテラピーの利用法	精油が心身に作用する経路を学ぶ				
精油の基礎知識	精油のプロフィールを習得する				
安全な精油の使い方	精油を安全に使うための注意点を理解する				
アロマテラピーに関する法律	アロマテラピーに関するルールを学ぶ				
アロマテラピー検定対策	練習問題を使用し、アロマテラピー検定1級合格を目指す				
教 材	評価基準		評価率		
日本アロマ環境協会テキスト 配布資料ファイル エッセンシャルオイル	出席率		30%		
	取組姿勢		20%		
	課題・試験 成果物評価等		50%		
関連資格・検定 コンテスト等	日本アロマ環境協会 アロマテラピー検定1級				

■ メイクアップ科1年次 ピューティーアドバイザー コース必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	就職対策			科目No	BAC03
授業形態	講義	授業コマ数	60	単位数	4
担当教員	古賀彩・野中夕香子・藤井優衣				
実務経験教員	古賀彩・野中夕香子・藤井優衣				
実務内容	美容部員・ヘアメイク				
授業の概要	自己分析をベースに自分自身の強みを明確にします。 履歴書やPR動画の作成ポイントを学び、強みを発信する力を身につけます。				
到達目標	自己分析や履歴書添削を繰り返し、自己理解を深めます。分析した強みを履歴書や動画で伝えることができるようになります。				
テーマ	内 容				
自己理解	自己分析で、長所や短所・特性を客観的に理解する				
自己PR	自己理解をベースにアピールできる長所から表現方法を考える				
履歴書・エントリーシート	履歴書やエントリーシートの書き方を学ぶ				
動画作成	動画で自分自身を伝えるポイントを学び、作成する				
模擬面接	面接のマナーから、表情・話し方まで繰り返し練習する				
教 材	評価基準			評価率	
配布資料	出席率			40%	
	取組姿勢			30%	
	課題・試験 成果物評価等			30%	
関連資格・検定 コンテスト等					

■ メイクアップ科1年次 ビューティーアドバイザー コース必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	フォトコンテスト・舞台メイク			科目No	BAC04
授業形態	実習	授業コマ数	60	単位数	2
担当教員	古賀彩・野中夕香子・藤井優衣				
実務経験教員	古賀彩・野中夕香子・藤井優衣				
実務内容	美容部員・ヘアメイク				
授業の概要	照明の基本を学習し、シューティングの基本からテーマに合わせて作品を作ります。企画書作成やイメージボード作成を通して、表現方法を深めます。ステージメイクの違いを基本から学び、舞台映えするテクニックを学びます。				
到達目標	ステージなど遠くから見ても映えるメイクのポイントを修得します。色の出し方、様々な素材の使い方によって、ビューティーメイクとの違いを表現できるようになります。				
テーマ	内 容				
作品をつくるポイント	撮影における作品作りのポイントを学ぶ				
テーマ設定	テーマの作り方、設定の仕方を学び、テーマを考える				
イメージボード作成	作品の世界観を伝え再現するための材料を考える				
作品制作	メイク・ヘアの再現方法を練習する				
撮影シミュレーション	背景を考え、カメラで撮影し、調整を考える				
撮影	カメラマンとイメージを共有し作品撮影をする				
バレエメイク	バレエダンサーのメイクアップ技術				
ステージメイク	舞台、ミュージカル等のステージメイク技術				
老人メイク	老けてみせるメイクアップ技術				
傷、火傷メイク	傷や火傷をつくるメイクアップ技術				
教 材	評価基準		評価率		
配布資料 化粧品教材一式	出席率		30%		
	取組姿勢		30%		
	課題・試験 成果物評価等		40%		
関連資格・検定 コンテスト等	フォトコンテスト				

■ メイクアップ科1年次 ピューティーアドバイザー コース必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	ブランド研究			科目No	BAC05
授業形態	講義	授業コマ数	30	単位数	2
担当教員	橋本かすみ・藤井優衣				
実務経験教員	橋本かすみ・藤井優衣				
実務内容	美容部員				
授業の概要	多くの化粧品ブランドについて学び、企業理念・製品特徴・マーケティングについて理解を深めます。業界理解にも役立ちます。				
到達目標	ブランドによって異なる特徴を調べ、プレゼンテーションで分かりやすく伝えます。				
テーマ	内 容				
企業名称	グループ企業や外資、国産の違いを学ぶ				
イメージマップ	ブランドによるイメージをマップ化し、カテゴリーを知る				
業界とチャネル	業界の規模や販売ルート(チャネル)について学ぶ				
店舗見学	店舗訪問を行い、特徴的な違いを知る				
マーケティング調査	ブランドで異なるマーケティング手法を調査しまとめる				
プレゼンテーション	各自の調査結果をプレゼンテーションする				
アイテム比較①	人気コスメをアイテムごとに調べる				
アイテム比較②	同一アイテムの複数ブランドによる違いを体験する				
プレゼンテーション	各自の調査結果をプレゼンテーションする				
教 材	評価基準			評価率	
配布資料 化粧品教材一式	出席率			30%	
	取組姿勢			30%	
	課題・試験 成果物評価等			40%	
関連資格・検定 コンテスト等					

■ メイクアップ科1年次 ピューティーアドバイザー コース必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	ヘアアレンジ			科目No	BAC06			
授業形態	実習	授業コマ数	30	単位数	1			
担当教員	伊藤恵理子							
実務経験教員	伊藤恵理子							
実務内容	美容師							
授業の概要	ヘアアイロンの使用方法や、様々なスタイルを軸に、ヘアアレンジの基本を学習します。ナチュラルから作品として映えるスタイルにまで対応できるテクニックを学びます。							
到達目標	ヘアアレンジの理解を深め、基本的なアレンジスタイルができるようになります。 メイクアップイメージに似合わせたヘアアレンジを提案できるようになります。							
テーマ	内 容							
アイロンワーク	アイロンワークの基本を理解する アイロンを用いた、多様なスタイルを習得する							
アップスタイルの基本	ピンの止め方とゴムの使い方を習得する							
逆毛と編み技術	逆毛の立て方と編み込み5種類の技術を習得する							
作品制作	テーマを決めて作品を作る ダイアモンドシルエットを理解する							
コンテスト向けアレンジ①	夜会巻きを使ったコンテスト向けアレンジを作る							
コンテスト向けアレンジ②	シニヨンの応用を学び、シニヨンを使った コンテスト向けアレンジを作る							
オリジナル作品作り	学んだ技術をベースにオリジナル企画に基づき作成する							
教 材	評価基準		評価率					
ヘアアイロン	出席率		30%					
ヘア剤	取組姿勢		20%					
リングコーム・ブラシ類	課題・試験 成果物評価等		50%					
ピン類								
関連資格・検定 コンテスト等								

■ メイクアップ科1年次 ピューティーアドバイザー コース必修科目紹介（2025年度入学生）

科目名	美容実習(前期)			科目No	BAC07
授業形態	実習	授業コマ数	30	単位数	1
担当教員	伊藤恵理子				
実務経験教員	伊藤恵理子				
実務内容	美容師				
授業の概要	美容師免許取得技術の1つであるワインディングの基礎を学ぶ				
到達目標	ワインディングに必要な道具の取り扱い、プロッキング、巻き方を習得する				
テーマ	内 容				
道具セッティング	ワインディングに必要な道具を覚え、セッティングできる				
ウィッグの手入れ	ウィッグの取り扱い方、手入れの仕方を学ぶ				
プロッキング	プロッキングの手順と決まりを学ぶ				
センター巻き	センターの上巻き、下巻きを学ぶ				
教 材	評価基準			評価率	
教科書 配布資料 ワインディング教材一式	出席率			30%	
	取組姿勢			30%	
	課題・試験 成果物評価等			40%	
関連資格・検定 コンテスト等	美容師免許				